

記入例

豊島区長あて

捨印

こちらにも押印をお願いします。

豊島区新型コロナウイルス感染拡大に伴う保育所等の臨時休園等ベビーシッター利用料等助成金交付申請書兼口座振替依頼書

一度記入した箇所を訂正する時は、二本線を引いて消し、上から訂正印を押印してください。修正液や消せるボールペンは使用できません。

現在、区立保育園、私立保育園、認定こども園（保育園枠）、地域型保育事業、千早さくら保育園、緊急1歳児受入事業に通っている場合、教育・保育給付認定をお持ちです。認定証をご確認ください。

認定保育所や認可外保育施設、一時預かり事業を利用しており、施設等利用費の支給（幼児教育・保育無償化）を受けている方は認定をお持ちです。「施設等利用給付認定の申請をした方のうち認定された方」および「みなし認定の対象となった方」には、区より「施設等利用給付認定通知書」を送付しております。施設等利用給付認定を受けているかどうかは、当該通知をお持ちかどうかでご確認ください。なお、施設等利用給付認定を受けている方の「標準時間認定」相当か「短時間認定」相当かは、事由によって異なりますので、お手数ですが、電話でお問合せください。

1 助成対象児童（助成対象児童ごとに申請してください。）

Table with fields: ふりがな (としま ななまる), 児童氏名 (豊島 ななまる), 性別 (男), 生年月日 (令和 平成 元年 4月 10日), 在籍園名 (豊島区役所保育園), 在籍園電話番号 (03-xxxx-0000), 教育・保育給付認定の有無 (無), 施設等利用給付認定の有無 (短時間相当), 認定相当の確認の有無 (無).

3つとも無の場合、申請対象となりません。

2 申請者（保護者）

区ホームページに掲載している、「ベビーシッター利用支援事業に係る確認申請書」に、必要資料を添付して提出していただければ、相当かどうか確認の上ご回答いたします。

Table with fields: ふりがな (としま たろう), 氏名 (豊島 太郎), 続柄 (父), 住所 (豊島区 南池袋2-45-1 豊島区役所マンション1001), 電話番号 (090-0000-xxxx).

申請者は口座名義と同じ名前を記入してください。押印漏れにお気をつけください。

押印必須です。

3 在籍園の休園等状況について（認可外保育施設に通われている場合のみ記入）

Table with fields: 休園等期間 (令和4年 8月 10日～ 令和4年 8月 13日), 休園等状況 (臨時休園).

4 口座振替依頼書 ※口座名義人は上記申請者と同じ名前を記入してください。異なる場合は委任状をご記入ください。助成金については下記の口座に振り込んでください。

Table with fields: 振込先金融機関 (豊島 銀行), 支店 (池袋 支店), 金融機関コード (9 9 9 9), 支店コード (1 1 1), 振込先口座 (普通 当座), 口座番号 (1 2 3 4 5 6 7), 口座名義人 (豊島 太郎), フリガナ (トシマタロウ).

5 添付書類チェックリスト

ご提出の前に、こちらのチェックリストにて今一度、ご確認お願い致します。

Table with 2 columns: Document Name, Description. Includes items like 領収書(原本), 利用明細書の写し, ベビーシッター要件証明書, 豊島区新型コロナウイルス感染拡大に伴う保育所等の臨時休園等への対応に係るベビーシッター利用料等助成申請に係る証明書※父母両方の証明書が必要.

【記入上の注意点】

- ※1 入会金、会費（実際にベビーシッターを利用した場合に利用料として充当されるものを除く）、キャンセル料、保険料、予約に要するオプション料、物品購入等の実費等のサービス提供に付随する料金は助成対象外です。
※2 算定の結果、助成対象となるベビーシッター利用料等が、上限を上回る場合は、上限までの金額を助成します。
※3 きょうだい利用をする場合、対象児童全員について要件を満たしていれば全員助成対象となります。その場合、助成申請書は児童ごとに作成してください。利用料金が一括になっている場合は、その金額を利用した児童数で割って一人当たりの利用料金を算出してください。（1円未満の端数が生じる場合は、いずれか1人の児童の利用料金を切り上げて算出してください。）交通費についても、同様に算出してください。

裏面の内訳書をご記入ください。

こちらにも押印をお願いします。 **捨印**

認定状況	短
標準時間認定なら「標」	
短時間認定なら「短」と記入。	

5 ベビーシッター利用内容内訳 (8月分) 1枚目に記載した内容とあわせる。※標準時間認定(相当)か短時間認定(相当)

利用日時	①申請時間	②1日の利用料金	③助成対象金額(利用料)	助成対象金額(交通費分)
8月10日(水) 9:00~17:00	8時間	19,200円	19,200円	720円
8月11日(木) 7:00~18:00	8時間	26,400円	19,200円	720円
8月12日(金) 9:00~15:45	6時間45分	20,250円	16,200円	960円
8月13日(土) 9:00~12:30	3時間30分	7,000円	7,000円	1,080円

短時間認定のため、利用時間のうち、1日8時間までが申請できる上限です。

(短時間認定:1日8時間まで、標準時間認定:1日11時間まで)

助成対象金額(交通費分)
(ベビーシッターが児童の居宅まで通うために要するもの)

上限の範囲内であれば、利用時間が申請時間となります。

利用料:7,000円と、2,400円×申請時間3時間30分(3.5)=8,400円を比較して、7,000円の方が低いため、7,000円が対象金額になります。エクセルでは式により自動計算されます。

利用料:26,400円と、2,400円×申請時間8時間=19,200円を比較して、19,200円の方が低いため、19,200円が対象金額になります。エクセルでは式により自動計算されます。

8時間 + 8時間 + 6時間45分 + 3時間30分 = 26時間15分。1時間未満を切り捨て、26時間
右上、認定状況の入力セルに標準時間なら「標」、短時間なら「短」と入力すれば、エクセルでは式により自動計算されます。

エクセルでは式により自動計算されます。

(1) 対象時間・対象金額月計

④申請時間 月分計 (1時間未満は切り捨て)	26	時間	⑤助成対象金額(利用料) 月分計	61,600	円
※1月上限 短時間認定160時間、標準時間認定220時間			⑥助成対象金額(交通費分) 月分計	3,480	円
			※1月上限 20,000円		

(2) 控除(自己負担額)月計

⑦控除(自己負担額) 8月分計 (④×150円)	3,900	円	④26時間×150円=3,900円 エクセルでは式により自動計算されます。
--------------------------	-------	---	--

(3) 申請金額月計

申請金額(利用料分) 8月分計 (⑤-⑦)	57,700	円	申請金額(交通費分) 8月分合計 (=⑥)	3,480	円
申請金額(利用料+交通費分) 8月分計		61,180			

⑤61,600円-⑦3,900円=57,700円
エクセルでは式により自動計算されます。

⑥交通費の合計です。
エクセルでは式により自動計算されます。

【留意事項】

○ベビーシッター事業者が発行する領収書等に記載された金額とします。

入力が必要な部分以外に入力するとエラーがでます。合計欄等はエクセルの場合全て自動計算できるようになっていますので、エクセルで作成する場合、入力は不要です。

定める基準額と利用時間数とを乗じて算出します。
の領収書等に記載された金額とします。

利用時間数	利用時間数
児童1人当たり1時間当たり2,250円(利用料2,400円-自己負担額150円)と、利用者がベビーシッター事業者から請求される料金のうち、純然たる預かりサービス提供対価(入会金、会費(実際にベビーシッターを利用した場合に利用料として充当されるものを除く)、キャンセル料、保険料、物品購入等の実費等のサービス提供に付随する料金は含まない)から150円を控除した額のいずれか少ない額	ベビーシッター事業の利用に係る費用の領収書、利用明細書等に記載された時間。短時間認定は月160時間、標準時間認定は月220時間を上限とする。

7 ベビーシッター利用内容内訳 (月分)

利用日時		1日の 利用時間	①申請時間		②1日の利用料金		③助成対象金額 (利用料)		助成対象金額 (交通費分) (ベビーシッターが 児童の居宅まで通 うために要するも の)
月日	時間帯		時間	分	円	円	円	円	
月 日()	: ~ :	時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月 日()	: ~ :	時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月 日()	: ~ :	時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月 日()	: ~ :	時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月 日()	: ~ :	時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月 日()	: ~ :	時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月 日()	: ~ :	時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月		時間 分	時間	分	円	円	円	円	
月		時間 分	時間	分	円	円	円	円	

2ページ目シート(8月分)の右上、認定状況の入力セルに標準時間なら「標」、短時間なら「短」と入力すれば、エクセルでは式により自動計算されます。

(1) 対象時間・対象金額月計

④申請時間 月分計 (1時間未満は切り捨て)	時間	⑤助成対象金額(利用料) 月分計	円
※1月上限 短時間認定160時間、標準時間認定220時間		⑥助成対象金額(交通費分) 月分計	円
		※1月上限 20,000円	

(2) 控除(自己負担額)月計

⑦控除(自己負担額) 月分計 (④×150円)	円
-------------------------	---

(3) 申請金額月計

申請金額(利用料分) 月分計 (⑤-⑦)	円	申請金額(交通費分) 月分合計 (=⑥)	円
申請金額(利用料+交通費分) 月分計			円

8 申請額(7月~9月分)総計

(1) 利用料分計

申請金額(利用料分) 7月~9月分総計	57,700	円
---------------------	--------	---

(2) 交通費分計

申請金額(交通費分) 7月~9月分総計	3,480	円
---------------------	-------	---

(3) 総計

7月~9月分(利用料+交通費分)総計	61,180	円
--------------------	--------	---